「第33回ボランティアのつどい」報告
～みんなであつまんべや～

本年度から、これまで恒例化していた志津コミュニティセンターを離れ、臼井地区で開催いたしました。 会場が染井野小学校体育館のため寒さを心配しましたが、穏やかな天気となり、楽しい一日を過ごすことができました。

今回から開催地区が変わったこともあり、新たな顔ぶれの方々との交流を行うことができました。多数の方にご協力、ご参加いただき、大変ありがとうございました。

風船を落とさないように…

日　時 ； 2015年2月11日（水・祝日）10時～15時
場　所 ； 佐倉市立染井野小学校　体育館
参加者 ； 約150名

●ご協力をいただいた方々

染井野小学校、千葉県立美術館、日本赤十字社千葉県支部、千代田地区社会福祉協議会、　佐倉市市民部 防災防犯課、順天堂大学スポーツ健康科学部（松山准教授及び学生さん）、ポーラ ザ ビューティ 臼井店、佐倉市赤十字奉仕団、積善会、とまとの会（真野初枝さん）、吉森文男さん[V連の歌の伴奏]、川合忠雄さん[写真撮影]

ビルダーカードを使ってオブジェづくり

●参加団体・グループなど（V連会員以外）

佐倉市社会福祉協議会、千代田地区社会福祉協議会、王子台地区社会福祉協議会、臼井ふるさとづくり協議会、志津南部地区民生委員、ボランティア・チューリップの会、さくら山王防犯パトロール隊「山防会」、手話ダンス・ロード、コミカレシルバー応援隊、楡の会、警友会、手をつなぐ育成会、吉見光の子ﾓﾝﾃｯｿｰﾘ子どもの家・佐倉市市民公益活動サポートセンター、その他個人の方

避難所さながらの昼食タイム

●参加団体・グループなど（V連会員）

明るい社会づくり佐倉、あしたの会、ガールスカウト千葉県第84団、草笛＆リーフル「ハッピー◦はっぱ」、心のふれあいボランティア「ひびき」、佐倉市の防災を考える会、手話サークル「希望」、手話ダンス虹、手をつなぐ・さくら、ボーイスカウト佐倉第４団、ひの木太鼓、ボランティアグループ「ラ．ポール」、個人ボランティア（V連役員含む）

■プログラム

10:00　開会式
10:10　『夢つくり隊』出張授業
　★ビルダーカードあそび体験
　★日本赤十字社・千葉県立美術館　職員のお話
　★佐倉市赤十字奉仕団の紹介・ハイゼックス米の説明
12:00　昼食タイム
　★混ぜご飯の販売／お食事
13:00　体験タ～イム！
　★体育館の寝心地体験
　★ハンドマッサージ講習会
13:30　リレートーク（５つの団体の発表）
　★テーマ　“自分たちのボランティア活動が、災害時にも役に立つ”
13:30　フィナーレ
　みんなで体をほぐしましょう！
15:00　閉会式

■開会式

総合司会のたまご。さん（草笛＆リーフル「ハッピー◦はっぱ」）の元気な掛け声のもと、第33回ボランティアのつどいを開会しました。

総合司会のたまご。さん

✦開会宣言　佐倉市ボランティア連絡協議会 会長　寺田 純子
✦あいさつ　佐倉市社会福祉協議会 会長　左奈田 雄一
✦来賓あいさつ　佐倉市長　蕨 和雄氏

■『夢つくり隊』出張授業

日本赤十字社千葉県支部と千葉県立美術館合同のプロジェクトで、平成24年度から東日本大震災の被災地でビルダーカードあそび、缶バッジづくり等を通じて被災地の子供たちの支援を行っています。

ビルダーカードあそびでは、体育館いっぱいを使い行いました。大きく大きく形作るチームや家を想定して作るチーム、お花の木を作るチームなど　皆で思い思いのオブジェを作りました。ことの他、全身を使いぽかぽかと暖かくなりました。初めて会った人とのコラボとなり、約1時間、大人も子どもも夢中になって作りました。

ビルダーカード

なぜビルダーカードだったのか？

被災地では、子どもが外で遊べなくなった。避難所での不便さ、喪失感より、子どもたちは継続的に我慢をしている状態。

▼

室内でできて、頭と体を使って想像力を育むもの。

▼

ビルダーカードあそび

◦没頭することで精神が浄化される。
◦自分の意志で動いて、形になること、また、大人が褒めることで、自尊心を回復する。

○ビルダーカードあそび体験後、日本赤十字社・千葉県立美術館の職員のお話

震災直後から現在までの被災地の様子をもとになぜこのようなワークショップを行うことになったのかのお話を伺いました。被災地でのビルダーカードあそびの様子と被災地の方々の「私たちのことをいつまでも忘れないで」のメッセージを受け取りました。

また、佐倉市赤十字奉仕団によるハイゼックス米の説明を受けました。

県立美術館 東さん

日本赤十字社 飛田さん

ハイゼックス袋にお米を入れて
沸騰したお湯に約30分！

赤十字奉仕団　佐野さん

■昼食タイム

お昼ご飯は、混ぜご飯とトン汁です。真野さん（とまとの会）と積善会のご協力により温かい食事をいただきました。

皆でくつろぎながらお食事となりました。

■体験タ～イム！

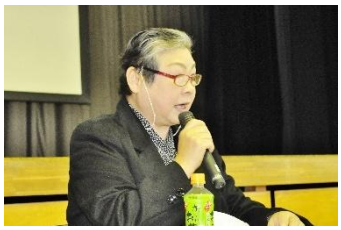
体育館に敷いたブルーシートで１分、段ボールの上で１分の寝心地を体験しました。この日は体育館に日差しも差し込む暖かい日でしたので、体育館で過ごす厳しさまでは体験できませんでしたが、段ボールの暖かさ、柔らかさは印象的でした。

続いて、ポーラ ザ ビューティ　臼井店の相馬マネージャーによるハンドマッサージの講習です。「タテタテ、ヨコヨコ、ピッ」と２人１組で実施しました。冷たかった手もお互いのマッサージで暖まりました。いす席に移り、ハンドマッサージを受けるはずでしたが、段ボールの居心地が良く、皆で移動せずに行いました。

■リレートーク

“自分たちのボランティア活動が、災害時にも役に立つ”をテーマに５人からお話をお聞きしました。

このコーナーの進行は、実行委員長の小澤明夫さん（佐倉市の防災を考える会）と牧野ゆりかさん（ガールスカウト千葉県第84団）です。



①とまとの会　真野初枝さん

3.１１の震災時に配食サービスの方の安否確認をしたこと、また、佐倉市が福島県から避難者を青少年センターに一時受け入れをした時に食事の提供をした時のことなど、お話しいただきました。

②心のふれあいボランティア「ひびき」　高橋京子さん

がんばって生きている人に向かって、「がんばって」は×。また、相手の言っていることを否定しない。「そんなことない、大丈夫ですよ。」も×。「そうなんですね。今、とっても辛いですね。」とあるがままを受け入れるといった、傾聴の基本的なことからお話しいただきました。

③ガールスカウト千葉県第84団　牧野あかりさん

3.１１の地震の津波で、浸水被害の出た千葉県蓮沼の小川荘(民宿)に宿泊して、復旧するまでのお話を聞き、ガールスカウトとしてできることを考え話し合う「ガールスカウトギャザリング」に参加したお話。「備えよ常に」のガールスカウトのモットーと、ほほ笑みを忘れないようにしようという思いを話されました。

④千代田地区社会福祉協議会　大蔵文子さん

3.１１の時に行った募金活動のお話。千代田地区社協は１００人の福祉委員で、住む人にやさしい街づくりを考えて活動している。命を助けるために、顔の見えるおつき合いが大切で情報共有をすることも必要だというお話しをいただきました。

⑤佐倉市防災を考える会　平出礼子さんほか

避難所では、狭い場所では体も固まってしまいがち。皆さんも一緒に手話ダンスを踊りましょう。ということで、参加者も一緒に手話ダンスを体験しました。

5 人のお話の後に、進行の小澤明夫さんから佐倉市の豪雨等による被害状況の写真をスライドで見せていただきました。寺崎の地先が『佐倉海』と化していました。こうした大きな災害が、この佐倉でも起きていることを初めて知ったかたも多いと思われる貴重な写真でした。災害は、いつどこで起こるかわからないということを実感しました。

「佐倉海」と化した寺崎

今にもあふれそうな高崎川

■フィナーレ

避難所では、体を動かす機会を失ってしまいがちです。エコノミー症候群になってしまうこともあり、気持ちも沈みがちになります。そこで順天堂大学の皆さんに、こうした場面で役立つ運動を考えていただきました。『心とからだのストレッチ』です。

まず、1 人によるストレッチからスタートし、次に近くにいる方とペアでのストレッチを行いました。久しぶりのストレッチですが‥‥。そして、6 人一組になり輪くぐりを行いました。その輪くぐりができたら今度は全員による輪くぐりです。ところどころに小さな輪も加わりました。もうみなさん夢中です。楽しいフィナーレです。

■閉会式

午前中も午後も盛りだくさんの企画も終了し、小澤実行委員長の閉会のあいさつ後、総合司会のたまごさんの音頭、吉森文男さんのギターと草笛＆リーフル「ハッピー◦はっぱ」のコラボの伴奏で、参加者全員が「V連の歌」を合唱し、再会を約束して閉会となりました。

参加者の声…いろいろな体験ができた。ビルダーカードあそび体験に関心があってつどいに来て、すごくよかった。3.11 の時の話が聞けてよかった。災害時に自分がいろんな役割ができると思った。全体を通してあきなかった。ボランティアのつどいらしいつどいだった。

楽しかった、来てよかったという感想がたくさんありました。

主催：佐倉市ボランティア連絡協議会
共催：佐倉市社会福祉協議会
後援：佐倉市、佐倉市教育委員会

運営：第 33 回ボランティアのつどい実行委員
ガールスカウト千葉県第84団、佐倉市の防災を考える会、
草笛＆リーフル「ハッピー◦はっぱ」、
川島幸一・住吉アキ子（個人ボランティア）